

# 歴史的市区町村境界 WebGIS 公開

京都大学学術情報メディアセンターでは、情報通信研究機構、ROIS-DS 人文学オープンデータ共同利用センター、国立情報学研究所の協力により、歴史的に変化する行政境界（市区町村）を現在の行政境界（市区町村、町丁目）とオーバーレイする [歴史的市区町村境界 WebGIS](https://jh170034-1.kudpc.kyoto-u.ac.jp/opendata-vtiles-boundary/articles-history-city/) サイトを公開しました。

Web アプリ URL

<https://jh170034-1.kudpc.kyoto-u.ac.jp/opendata-vtiles-boundary/articles-history-city/>

## 詳細

歴史的市区町村境界 WebGIS では、ベクタタイル化された全 28 年代（1920 年～2020 年）の市区町村境界データを WebGIS 上に表示することができます。図 1 は [歴史的市区町村境界 WebGIS](https://jh170034-1.kudpc.kyoto-u.ac.jp/opendata-vtiles-boundary/articles-history-city/) の初期画面です。1920 年の市区町村境界と現在の市区町村境界線が比較でき、当時にはなかった東京湾の埋め立て地が可視化されています。図 2 では四国の 1920 年の市区町村境界と現在の市区町村境界線が比較でき、多くの市区町村が合併されたことがわかります。図 3 は東京都多摩地区の 1920 年の市区町村境界と現在の市区町村境界線が比較できます。多摩地区全体では大きな市区町村境界の変更はありませんが、昭島市だけが例外であることがわかります。図 4 は 2005 年の琵琶湖の行政境界です。このころに、琵琶湖に面する 10 市 4 町により等距離線主義で行政境界が制定されました。

利用方法は次の通りです。まず、表示する時代をメニュー（図 5 - A）から選択します。次に、同時に表示する最新の行政境界線と境界線幅および背景地図を選択します（図 5 - B）。

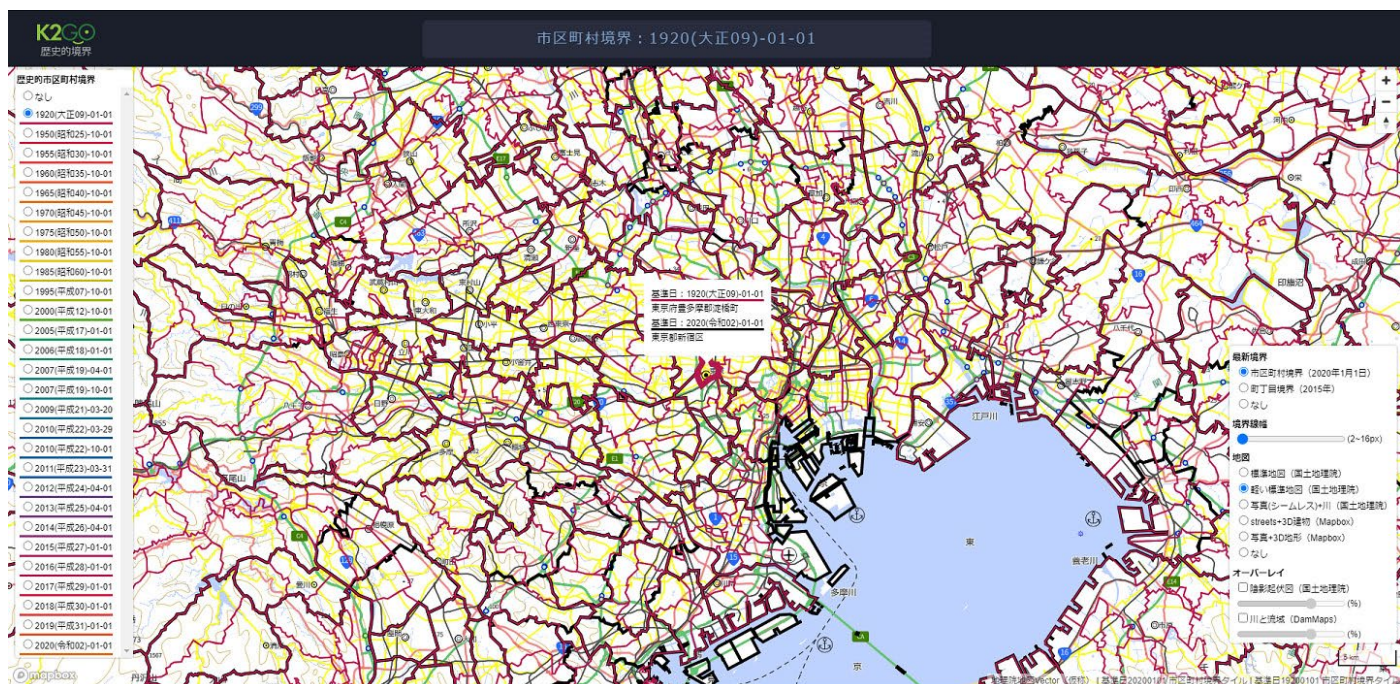


図 1：歴史的境界 初期画面



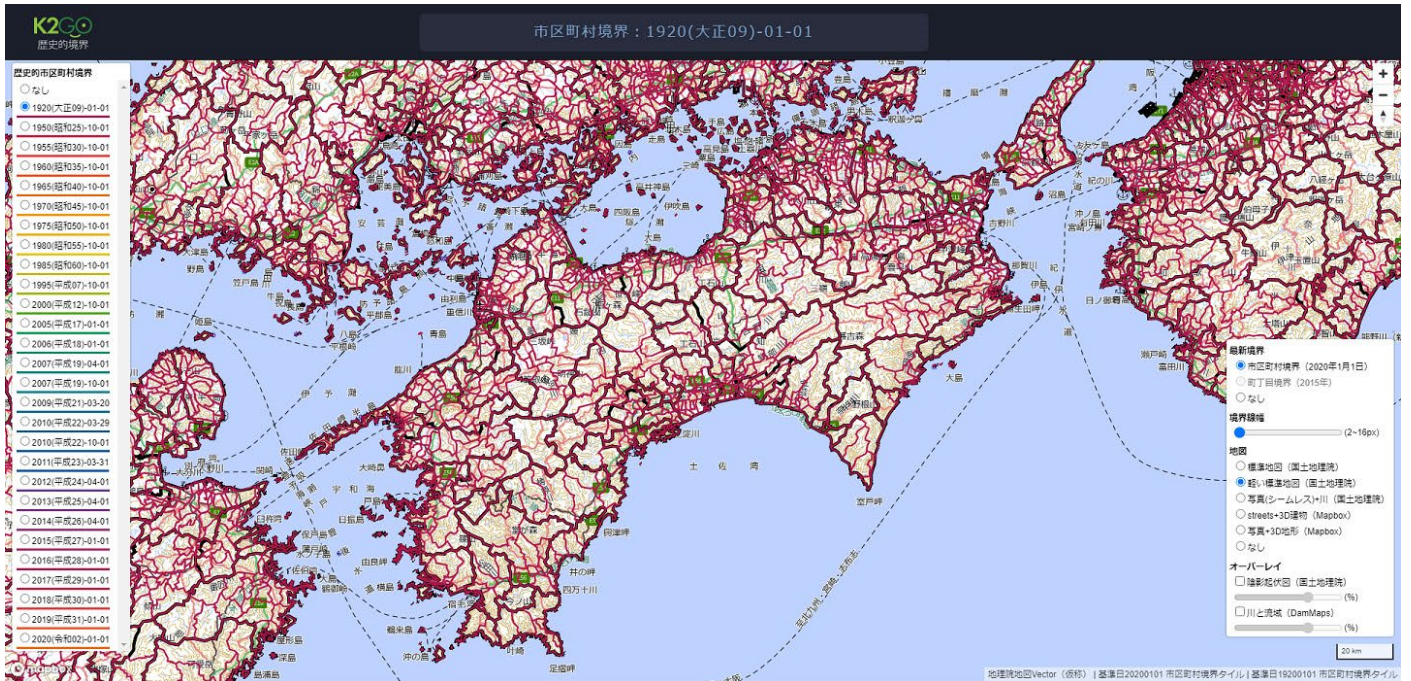


図 2：歴史的境界 四国

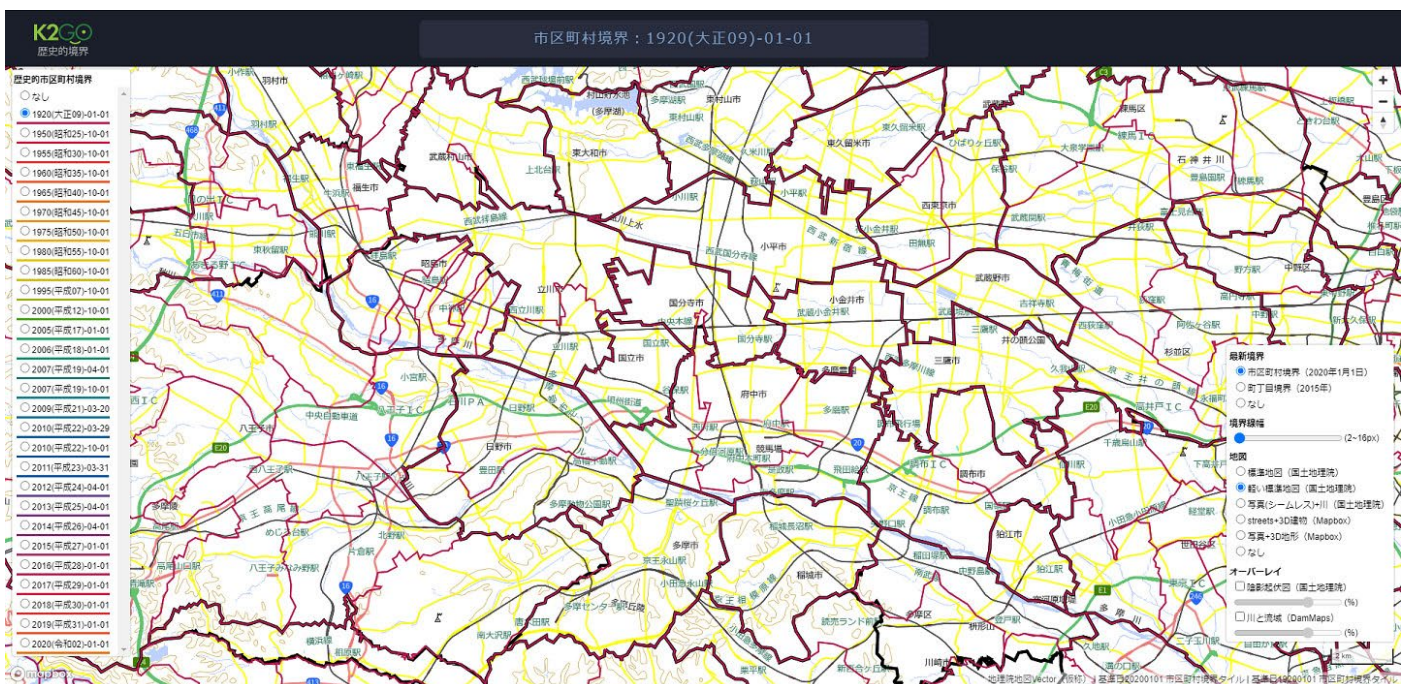


図 3：歴史的境界 多摩地区



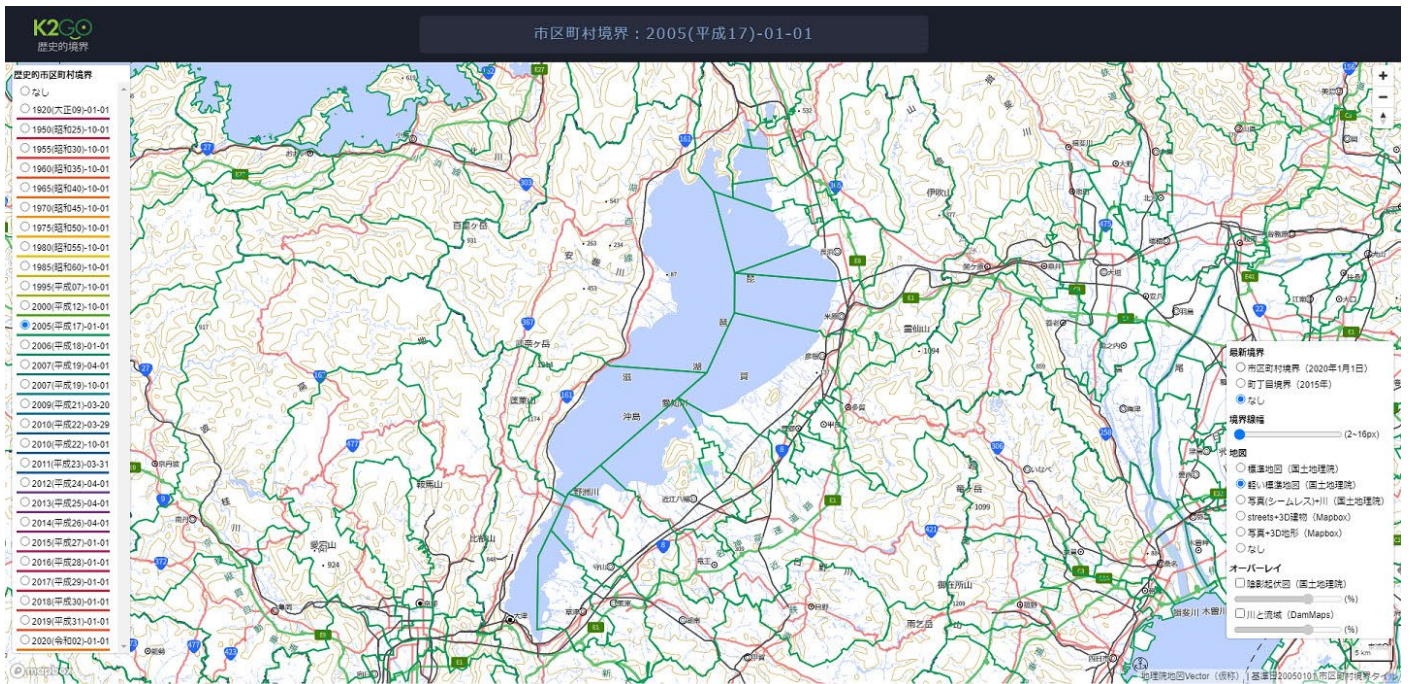


図4：歴史的境界 琵琶湖

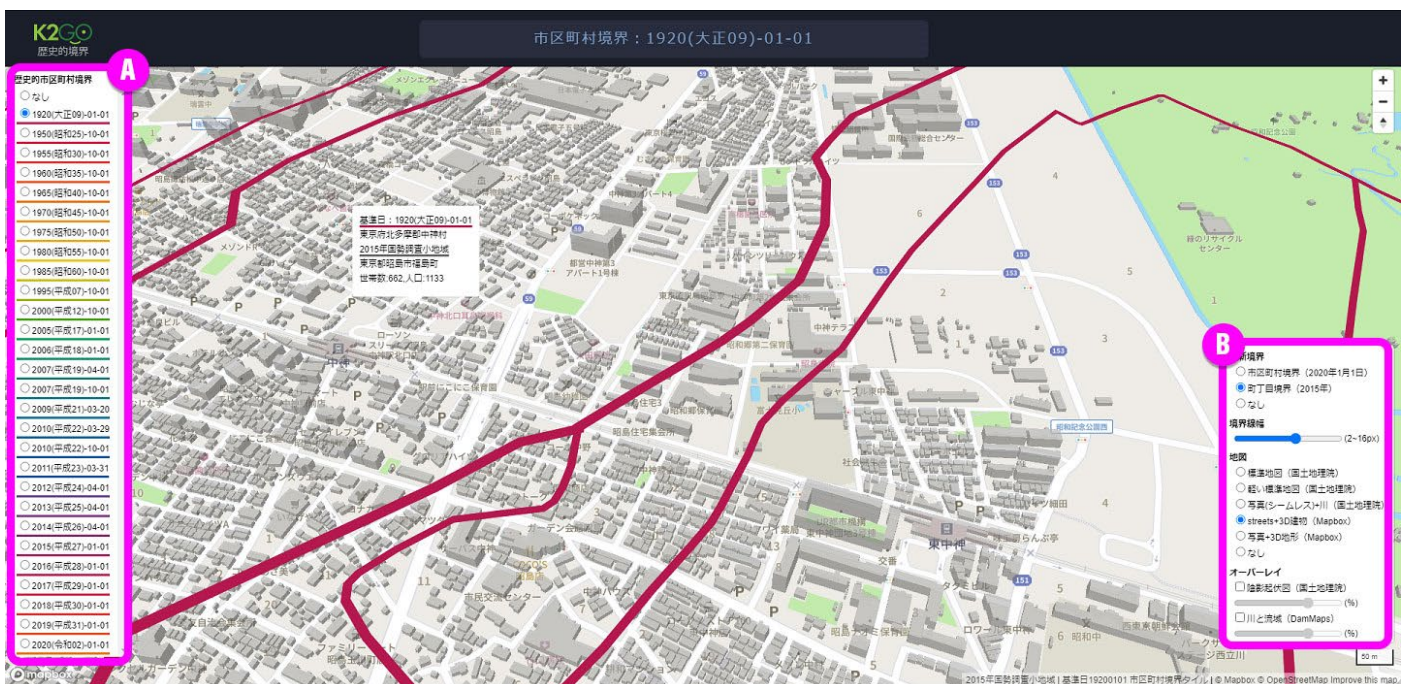


図5：表示メニュー選択

関連組織

情報通信研究機構 総合テストベッド研究開発推進センター

情報・システム研究機構 データサイエンス共同利用基盤施設 人文学オープンデータ共同利用センター

国立情報学研究所 コンテンツ科学研究系

謝辞

本プロジェクトは、情報・システム研究機構 データサイエンス共同利用基盤施設 公募型共同研究 ROIS-DS-JOINT

(2018年～2020年)の支援を受けて実施したものです。本 Web アプリケーションの公開は学際大規模情報基盤共同利用・共同研究拠点 (JHPCN) プログラムの一環として実施しています。

連絡先・問い合わせ先

京都大学学術情報メディアセンター 深沢 圭一郎 (fukazawa@media.kyoto-u.ac.jp)